

第3回グリ下会議 議事要旨

R5.10.30（月）14:00～15:00 中央区役所 6階 601 会議室

冒頭、事務局より議事公開範囲の確認、構成員の追加（大阪市福祉局）、欠席及び代理出席の構成員について報告し、座長あいさつ。

【議題1】構成員からの報告等

大阪府商工労働部より OSAKA しごとフィールドを、大阪市民局よりしごと情報ひろば・地域就労支援センターを、大阪市福祉局より生活困窮者自立支援制度を事業広報チラシにより事業説明

（意見・質問）

・就労支援の事業実績は？

（大阪市民局）年間の相談延べ件数は約 33,000 件、就職実績は約 2,000 件程度。

（大阪府商工労働部）全体の合計では年間で 7,000 人程度の就職者。

・前回も意見として出されたように、行政への拒否感、嫌悪感等でなかなかグリ下の若者には結び付きにくいと思われるので、今後その方法を考えていってほしい。

・今説明された就労支援に関連する事業で、グリ下の若者へ直接的な支援につながるような動きしているものはあるか？

（大阪市福祉局）対応には本人同意を要するので、接点が無い中で対応していくのは難しい。

・（D×P）対象者のうち 6 割はこれまで全く支援につながった事がなく、残り 4 割もオンラインのみであったり、医療のみであったり、福祉へのアクセスは非常に少ない。精神疾患等の課題を抱え約束の時間に来れない、電車に乗れない等の事情がある場合も多く、くらしサポート中央のように出張相談を検討していただけたらと思う。

・夜間帯までの時間延長やオンラインでの実施等は効果的と考えられるか？

・（D×P）そもそも相談という発想が無い場合がほとんどである。滞納等で Wi-Fi 環境でしかスマホが使えないという人も多く、グリ下に限って言えばオンライン相談の実効性は微妙。相談したくないという人も多く、やはりアウトリーチしてつながっていくのが得策と考える。

・（大阪市福祉局）就労支援事業である総合就職サポート事業ではアウトリーチは難しいが、くらしサポート中央は積極的にアウトリーチできる相談機関なので、キーになり他事業を活用していく事は可能である。

・（大阪市民局）ユースセンターに事業のチラシではなく名刺サイズのカードを作成し設置する事は可能か？

・（D×P）置く場合はスタッフが説明しながら案内する事になるのでチラシのほうがありがたい。チラシやカードを持ち帰り活用するとは思えないので、顔を合わせて説明するのが重要になる。

・行政に相談したくないというのがやはり問題の根本にある。いかに若者が離れていかないようにしつつ連携しアウトリーチしていくか、どのように支援体制に馴染むかが行政サイドにも必要である。

【議題2】第1回・第2回グリ下会議をふまえた論点と方向性の整理

事務局より第1回・第2回会議における意見を整理しまとめた資料を提示し説明。

(意見・質問)

- ・アウトリーチも入れていったほうが良い。アウトリーチの取組については関係する所属は検討していく必要がある。
- ・精神面でのケア、医療との連携も重要である。
- ・(中央子ども相談センター) 現状でも法的支援が必要なケースに限られるが子どもに対する法律援助制度を活用している。ただ全員に案内するという事はしていない。
- ・こども・若者への法的な専門支援は選択肢として必要。家庭に入る人間、家庭に関わる支援者を増やす事が重要になってくるので親権等の法的手続だけでなく生活環境調整でも入る事は可能と考える。
- ・こどもの手続代理人弁護士制度等をどういった形で利用していけるのか、今後日弁連等と詰めていく必要がある部分である。
- ・こども相談センターによる対応までにはならない18歳未満の未成年への対応も重要である。引き続きこの会議で意見をまとめていきたい。
- ・この会議でのプロセスがわかりにくい。今の資料は先のほうの話が多く、現に今グリ下やミナミにいる若者にどう支援を届けていくかの部分がもっと必要だと感じる。就労は自立につなげていく重要な論点の一つであるのはわかるが、現時点での優先度が高い話かとも思う。「未成年の自立支援」が最終目標であるのは当然として、その過程を行政はどう考えているのかが見えにくい。
- ・(座長) 初回でこの会議における議論の射程距離に言及させていただいた。今グリ下にいるこども若者にどのような支援をどう届けるか、一方で社会課題に対してどのような発信をしていくか、地域団体・支援団体・行政で何ができるのか、今がチャンスと捉えている。
- ・座長発言の通りであるが論点が混ざっているのも事実なので、「どのように必要な支援が届くようアプローチしていくか」「どのようにケアし支援を提供していくか」「どうやってグリ下から出れるようにしていくか」「グリ下への流入をどう防ぐか」と論点整理し議論していく事が必要と考える。
- ・前回報告のあった戎橋橋下照明の改修により前後で変化はあったか？
- ・(大阪市建設局・大阪府警本部) 実測値が無いので正確な状況は不明。季節等他の要因もあり何とも言えない。

【議題3】その他

事務局より次回日程調整状況に関する報告。

座長閉会あいさつ